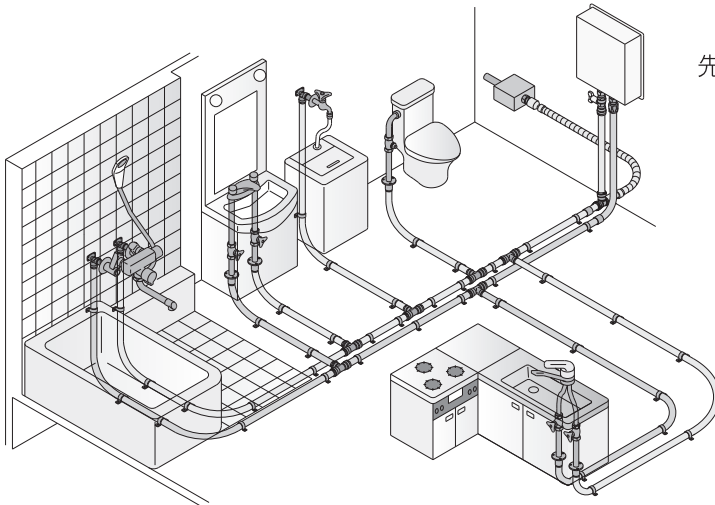


6 先分岐工法施工手順

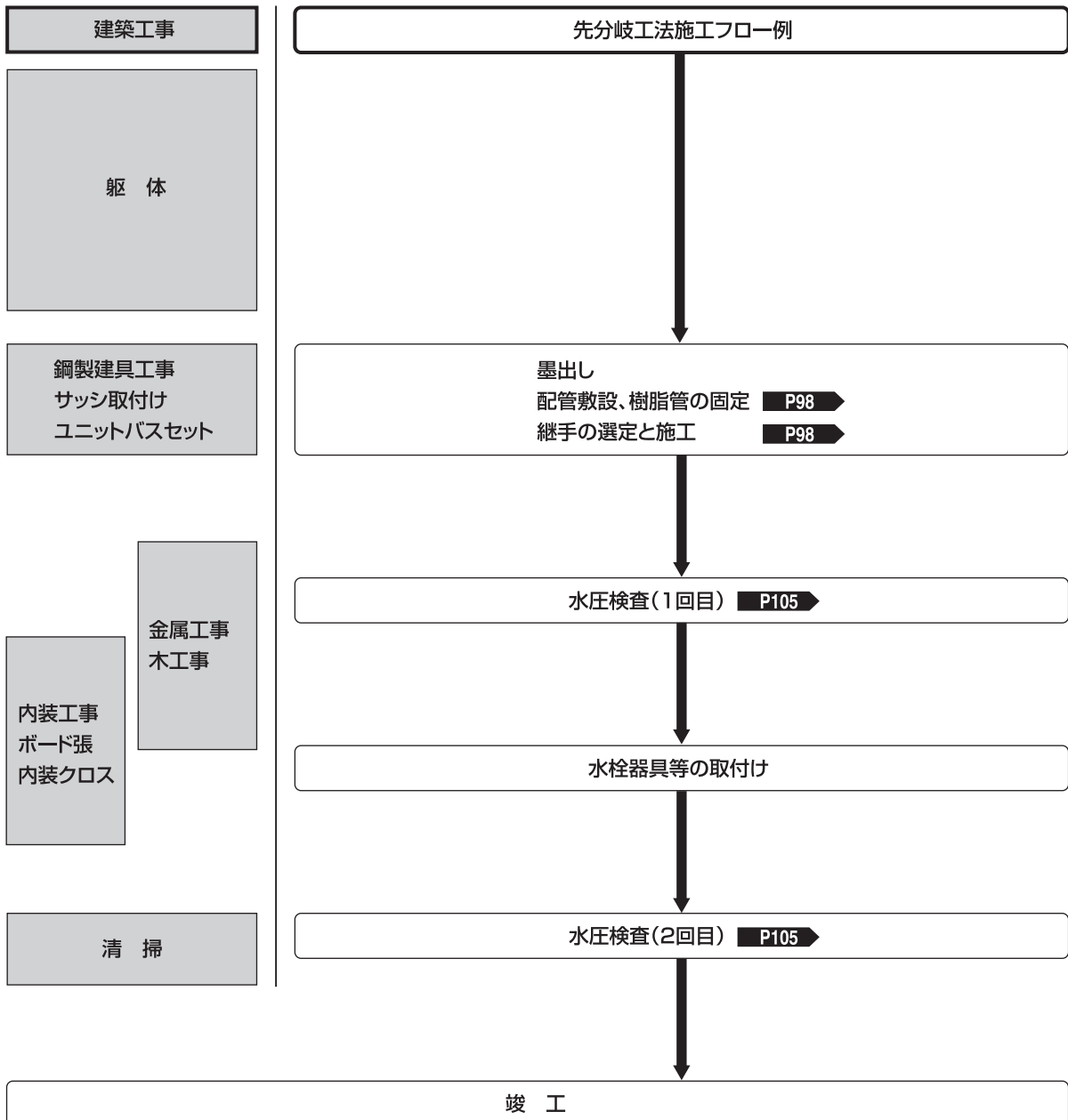
施工フロー

6-1 施工フロー及び詳細施工例

1 施工フロー



先分岐工法の施工フロー例を下記に示します。



1

特長・仕様

2

注意事項

3

配管設計

4

サヤ管ヘッダー工法
施工手順

5

ヘッダー工法
施工手順

6

先分岐工法
施工手順

7

水圧検査方法例

8

特記事項

9

参考資料

6 先分岐工法施工手順

詳細施工例

1

特長仕様

2

注意事項

3

配管設計

4

サヤ管ヘッダー工法
施工手順

5

ヘッダー工法
施工手順

6

先分岐工法
施工手順

7

水圧検査方法例

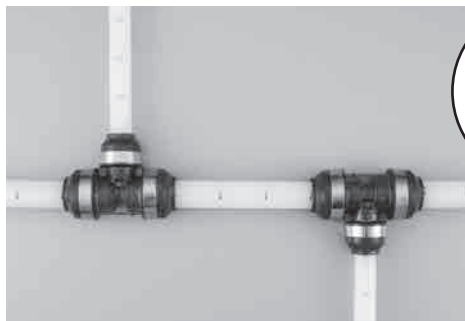
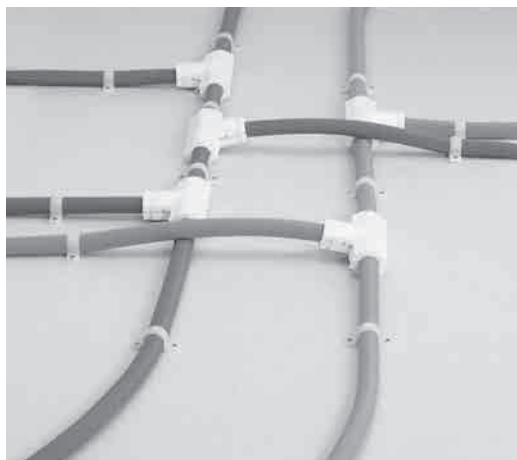
8

特記事項

9

参考資料

2 詳細施工例



黄銅製チーズ
(WT1型)

■チーズソケット施工例 (WPT1型) P101



樹脂製エルボ
(WPL3型)

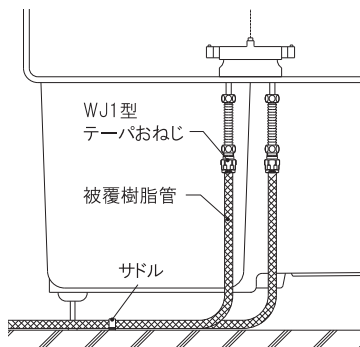


座付タイプ
(WL23型)

■エルボソケット施工例 (WL3型)

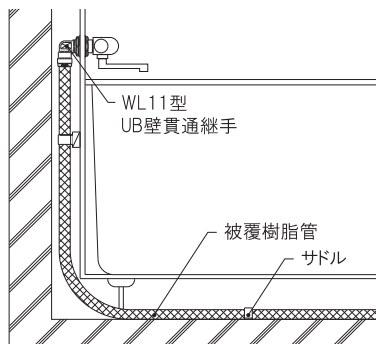
ユニットバス

■テーパおねじ

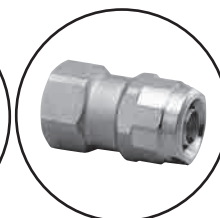


■テーパおねじ施工例 (WJ1型)

■UB壁貫通継手



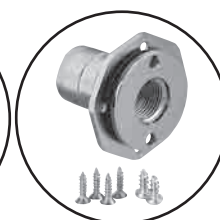
テーパおねじ
(WJ1型)



テーパめねじ
(WJ2型)



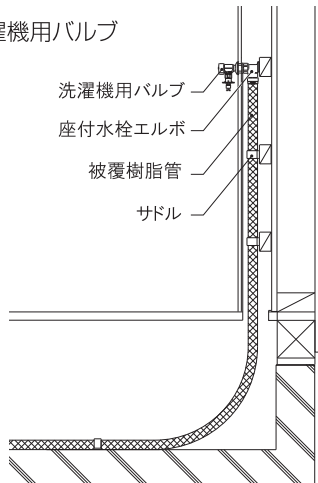
UB壁貫通継手
(WL11型)



UB壁貫通継手
(WJ13型)

洗濯機

■洗濯機用バルブ



■座付水栓エルボ施工例
(WL5型) **P100**



逆座タイプ
(WL6型)



両座タイプ
(WL33型)



左座タイプ
(WL14型)

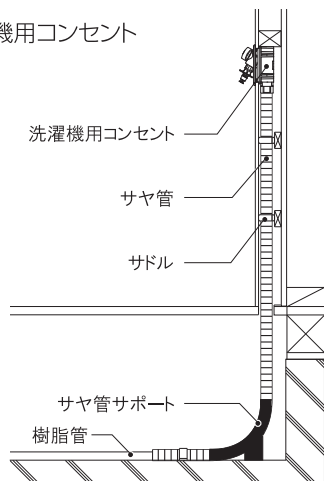


右座タイプ
(WL36型)

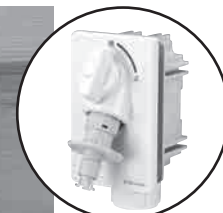
Point

設置場所に応じて座のタイプを選択して下さい。

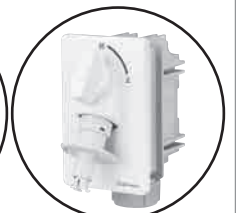
■洗濯機用コンセント



■洗濯機用コンセント施工例
(WF1型) **P103**



WF1M1型

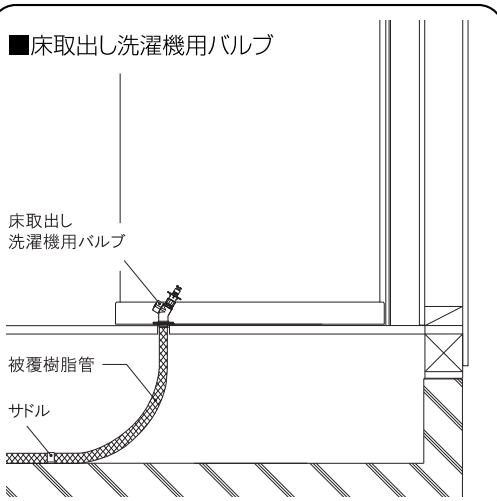


厚壁用
(WF1L型)

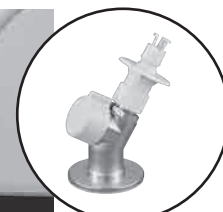
Point

壁厚に応じてWF1型、WF1M1型、厚壁用のWF1L型を選択して下さい。

■床取出し洗濯機用バルブ



■床取出し洗濯機用バルブ施工例
(WF4型)



WF4型

1

特長仕様

2

注意事項

3

配管設計

4

サヤ管ヘッダー工法
施工手順

5

ヘッダー工法
施工手順

6

先分岐工法
施工手順

7

水圧検査方法例

8

特記事項

9

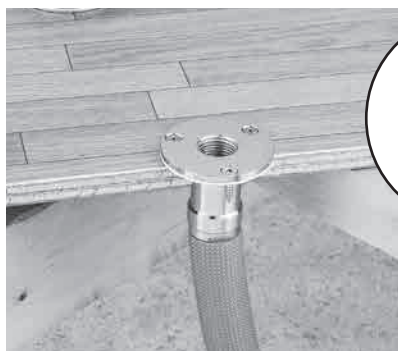
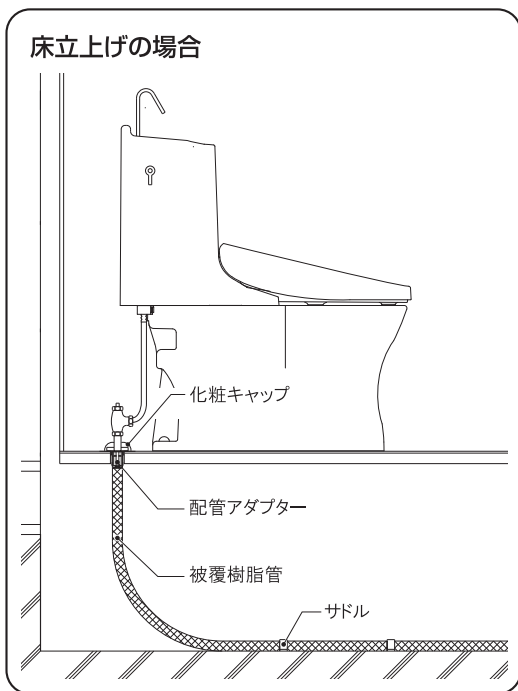
参考資料

6 先分岐工法施工手順

詳細施工例

トイレ

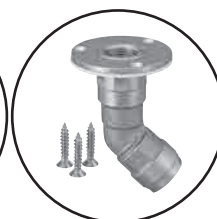
床立上げの場合



■配管アダプター施工例
(WJ8、17、34型) **P99**



エルボタイプ
(WL13、16、28型)



回転式
(WL21型)

Point

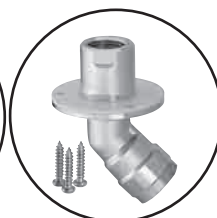
エルボタイプは低床時の配管に便利です。



■床下取付アダプター施工例
(WJ23、43型)



WJ23、43、46型



エルボタイプ
(WL43型)

Point

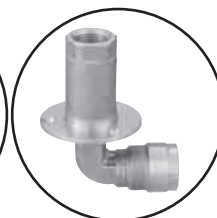
床下より床の裏側に固定します。2階の配管に便利です。



■床下横取付アダプター施工例
(WJ30型)



WJ46、WL43型

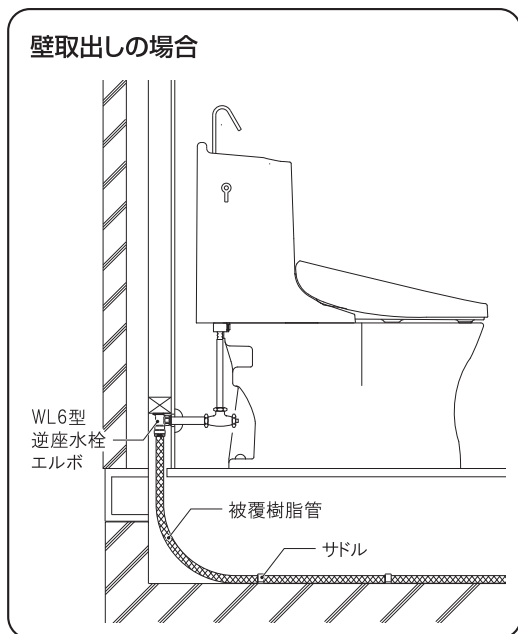


万能床座用
(WL57型)

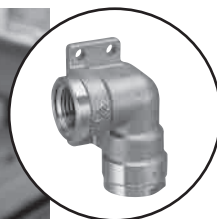
Point

万能床座に取付け、高さを調整できます。床張り後にねじ (Rc1/2) への接続が目視確認できます。

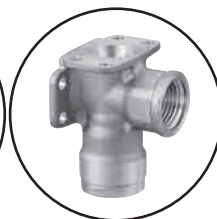
壁取出しの場合



■右座水栓エルボ施工例
(WL36型) **P100**



左座タイプ
(WL14型)



両座タイプ
(WL33型)

WL6型
逆座水栓
エルボ

被覆樹脂管

サドル

1 特長仕様

2 注意事項

3 配管設計

4 サヤ管ヘッダー工法
施工手順

5 ヘッダー工法
施工手順

6 先分岐工法
施工手順

7 水圧検査方法例

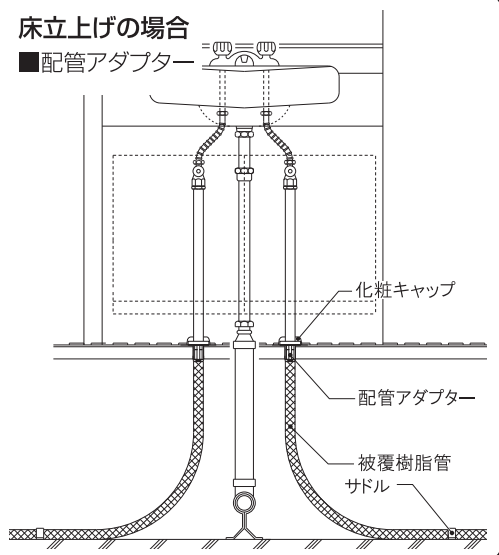
8 特記事項

9 参考資料

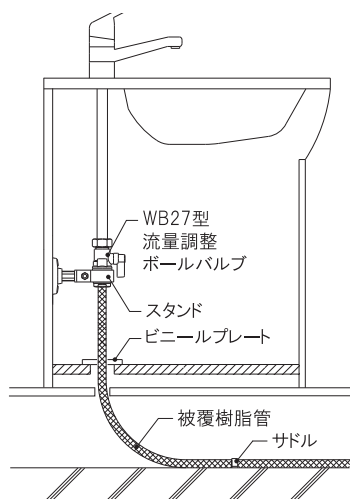
洗面

床立上げの場合

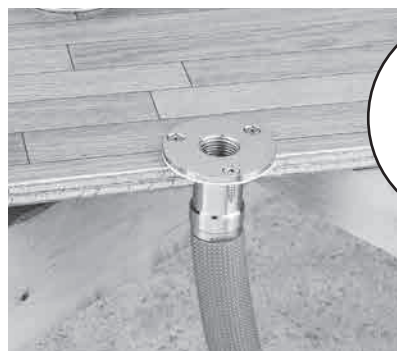
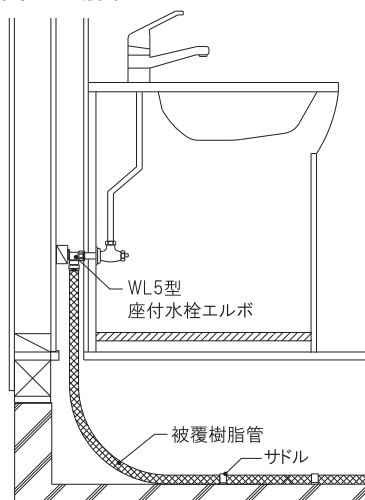
■配管アダプター



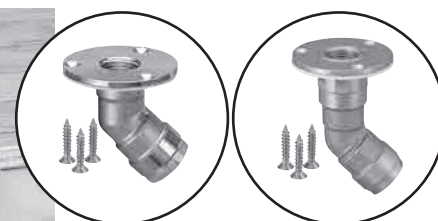
■流量調整ボールバルブ



壁取出しの場合



■配管アダプター施工例
(WJ8、17、34型) **P99**



エルボタイプ
(WL13、16、28型)

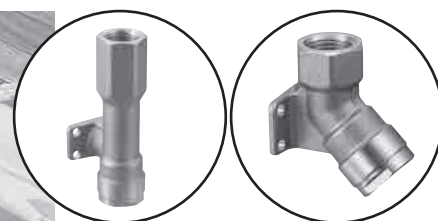
回転式
(WL21型)

Point

エルボタイプは低床時の配管に便利です。



■床下横取付アダプター施工例
(WJ30型)

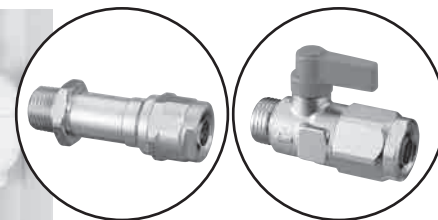


ロングタイプ
(WJ30型)

エルボタイプ
(WL35型)



■流量調整ボールバルブ施工例
(WB27型)



水栓胴長アダプター
(WJ12型)

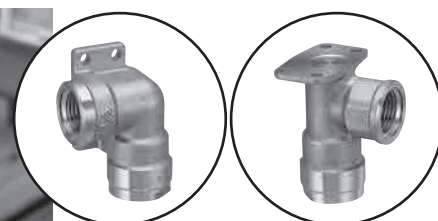
WB27型

Point

継手をスタンドで固定して施工します。



■右座水栓エルボ施工例
(WL36型) **P100**



左座タイプ
(WL14型)

逆座タイプ
(WL6型)

1

特長仕様

2

注意事項

3

配管設計

4

サヤ管ヘッダー工法
施工手順

5

ヘッダー工法
施工手順

6

先分岐工法
施工手順

7

水圧検査方法例

8

特記事項

9

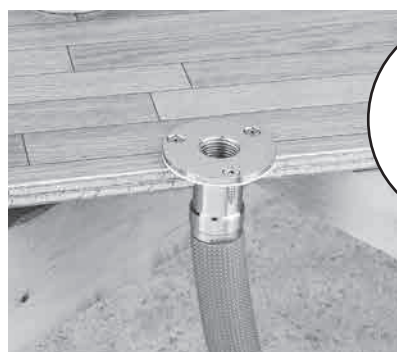
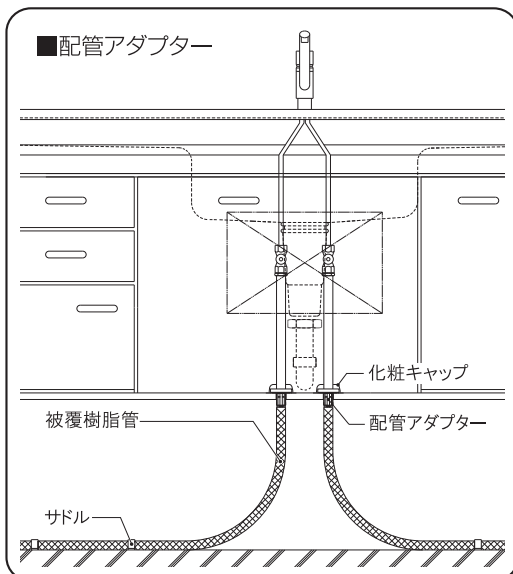
参考資料

6 先分岐工法施工手順

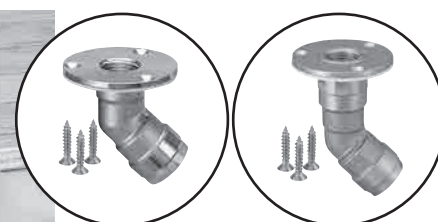
詳細施工例

キッチン

■配管アダプター



■配管アダプター施工例
(WJ8、17、34型)



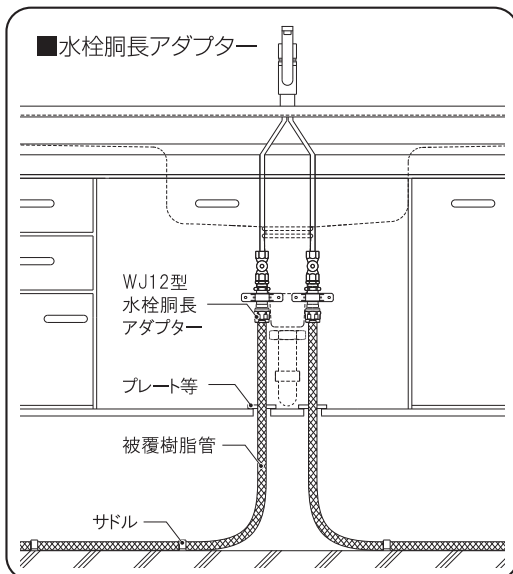
エルボタイプ
(WL13、16、28型)

回転式
(WL21型)

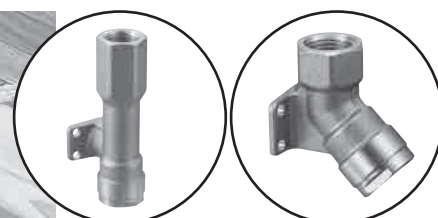
Point

エルボタイプは低床時の配管に便利です。

■水栓胴長アダプター



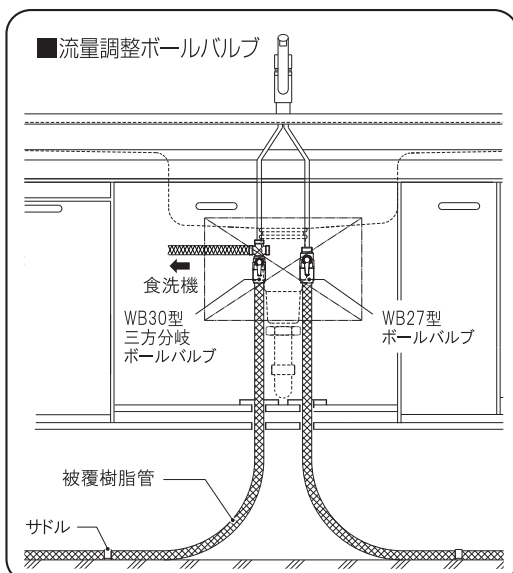
■床下横取付アダプター施工例
(WJ30型)



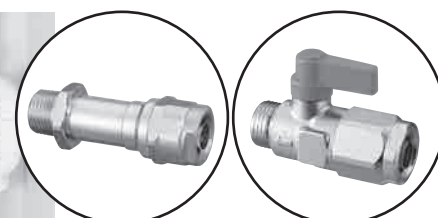
ロングタイプ
(WJ30型)

エルボタイプ
(WL35型)

■流量調整ボールバルブ



■流量調整ボールバルブ施工例
(WB27型)

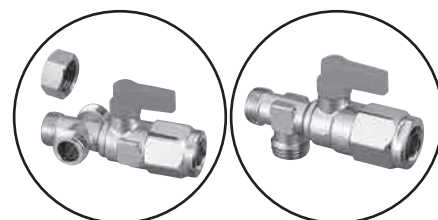


水栓胴長アダプター
(WJ12型)

WB27型

Point

継手をスタンドで固定して施工します。



三方分岐
(WB29、30型)

二方分岐
(WB31型)

Point

WB29 型・WB30 型・WB31 型は食洗機や浄水器への分岐配管に便利です。

1 特長仕様

2 注意事項

3 配管設計

4 サヤ管ヘッダー工法
施工手順

5 ヘッダー工法
施工手順

6 先分岐工法
施工手順

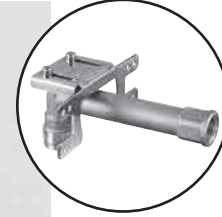
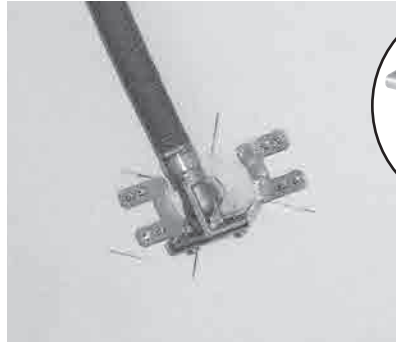
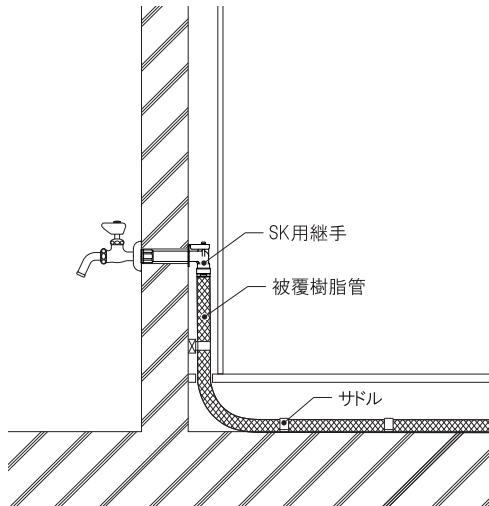
7 水圧検査方法例

8 特記事項

9 参考資料

SK

■SK用継手



WL54型

Point

壁空間 50mm以上に対応します。エルボ等を使用する配管と比べて接続箇所を削減できます。貫通穴径をφ50 と小さくできるため、モルタルの埋め戻しの負荷を軽減できます。

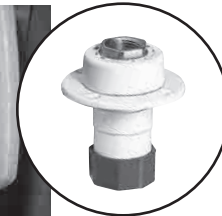
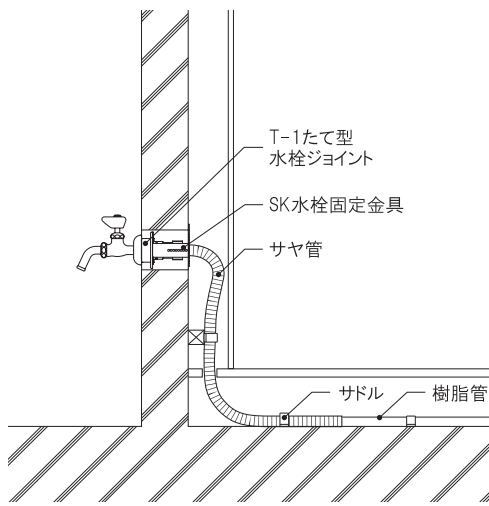


■SK用継手施工例

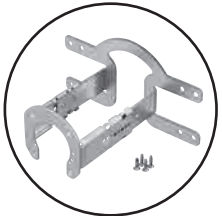
(上：屋内側、下：屋外側)

P102

■たて型水栓ジョイント(T-1型 B-1タイプ)



T-1型
(B-1タイプ)



SK水栓固定金具



■たて型水栓ジョイント施工例

(上：屋内側、下：屋外側)

P59

1

特長仕様

2

注意事項

3

配管設計

4

サヤ管ヘッダー工法
施工手順

5

ヘッダー工法
施工手順

6

先分岐工法
施工手順

7

水圧検査方法例

8

特記事項

9

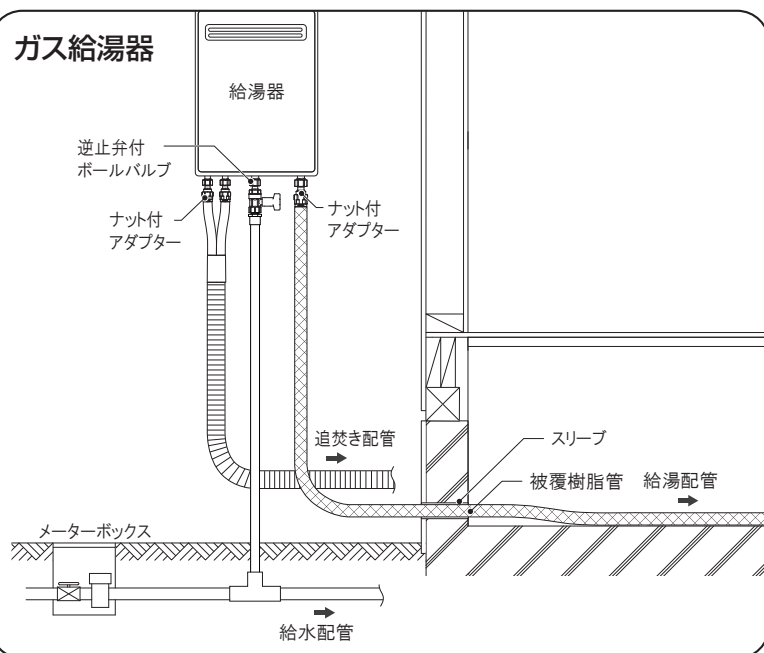
参考資料

6 先分岐工法施工手順

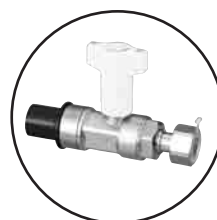
詳細施工例

給湯器・給水引込み

ガス給湯器



給湯器配管施工例 (CBW7型)

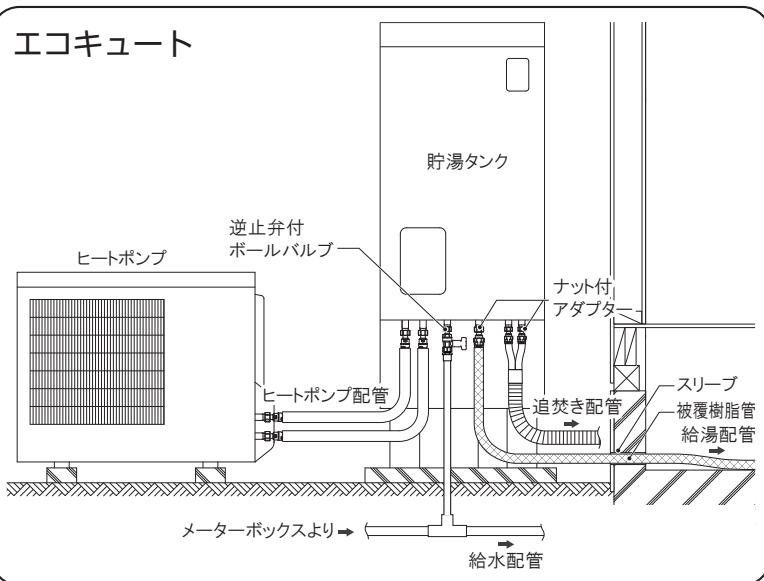


逆止弁付ボールバルブ (CB26型)



ナット付アダプター (WJ18型)

エコキュート



HIVE変換アダプター施工例 P109

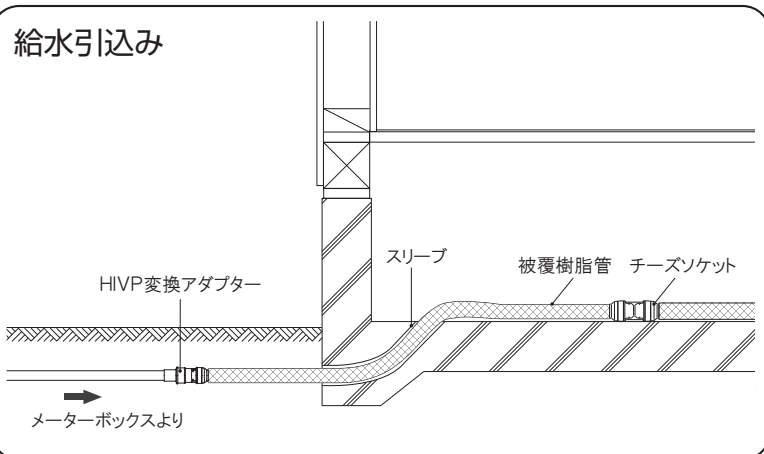


HIVE変換ソケット (WPJ27型)



HIVE変換チーズ (WPT16型)

給水引込み



1

特長仕様

2

注意事項

3

配管設計

4

サヤ管ヘッダー工法
施工手順

5

ヘッダー工法
施工手順

6

先分岐工法
施工手順

7

水圧検査方法例

8

特記事項

9

参考資料

6 先分岐工法施工手順

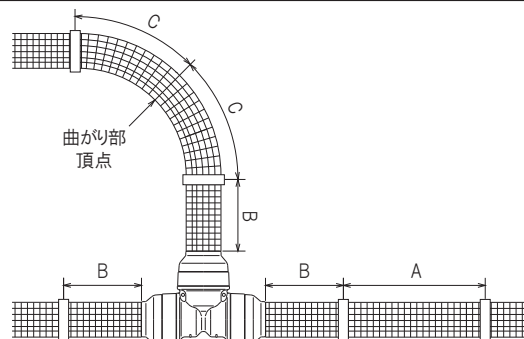
樹脂管の固定・継手の選定

6-2 樹脂管の固定

樹脂管の支持間隔は表6-1の通りとして下さい。

表6-1 樹脂管の支持間隔

部位		支持間隔	
		床ころがし配管	天井配管
A	直管部	1000mm以内	600mm以内
B	継手部	300～500mm	300～500mm
C	立ち上がり部 曲がり部	曲がり部頂点より 500mm以内	曲がり部頂点より 300mm以内



⚠ 注意

- ・ 接続部よりすぐに樹脂管を曲げて配管しないで下さい。
- ・ 上記は推奨値です。天井配管で垂れ下がりがある場合等は支持間隔を短くして下さい。

6-3 継手の選定

各器具との接続は器具側に合わせて継手を選定して下さい。

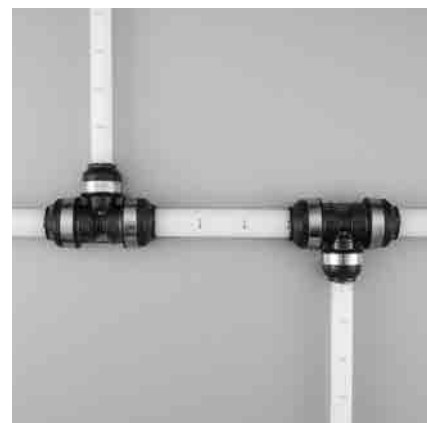
施工場所	使用継手例
ユニットバス	おねじアダプター・めねじアダプター
洗濯機	座付水栓エルボ P100 洗濯機用コンセント P103
洗面 台所流し台 トイレ	壁取出し — 座付水栓エルボ P100 床取出し — 配管アダプター P99
ベランダ・バルコニー	SK用継手 P102
メーターボックス	HIVP変換継手 P109
分岐部	チーズ P101



■座付水栓エルボ施工例



■配管アダプター施工例



■チーズ施工例

1

特長・仕様

2

注意事項

3

配管設計

4

サヤ管ヘッダー工法
施工手順

5

ヘッダー工法
施工手順

6

先分岐工法
施工手順

7

水圧検査方法例

8

特記事項

9

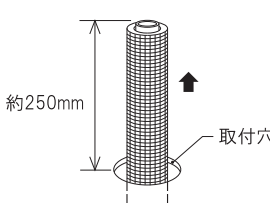
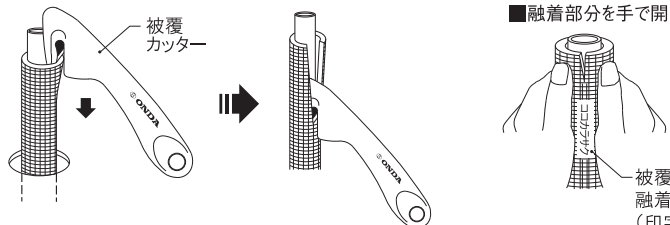
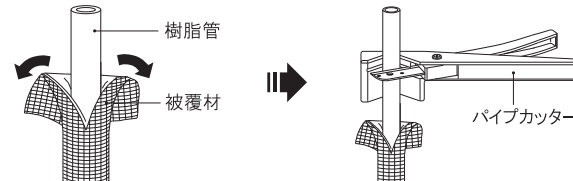
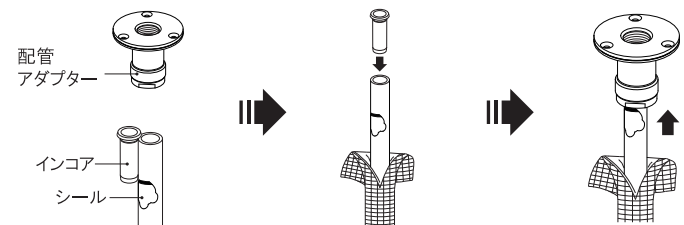
参考資料

6 先分岐工法施工手順

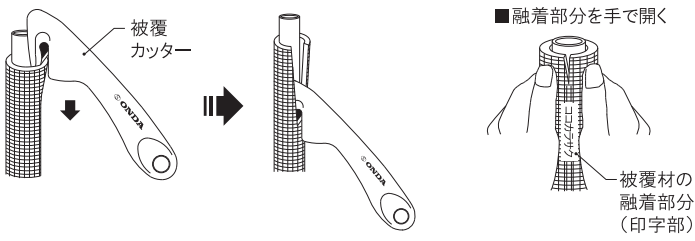
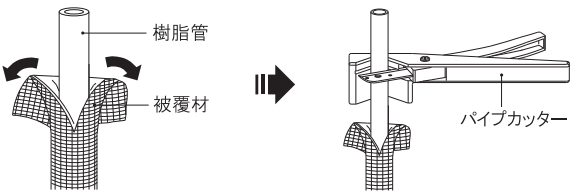
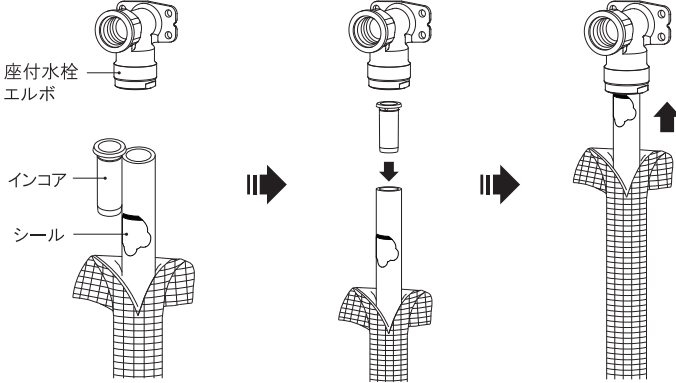
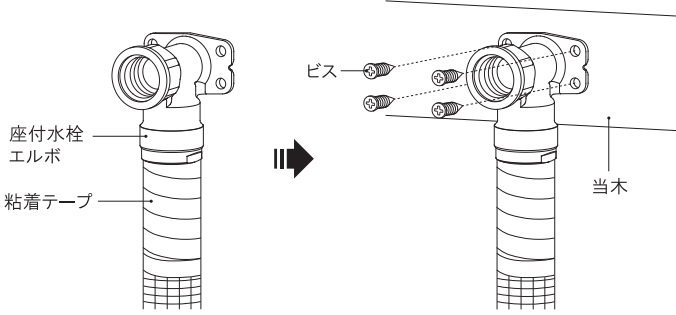
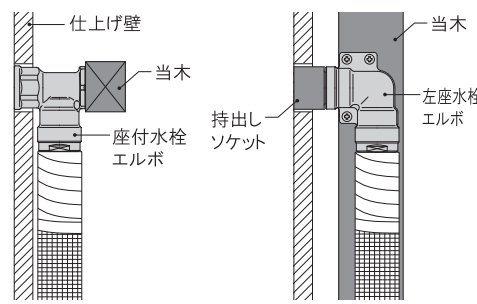
継手の施工手順

6-4 継手の施工手順

1 配管アダプターの取付方法

作業手順	△ 注意														
① 床に 表6-2 を目安として穴を開け、樹脂管を被覆材ごと通します。  約250mm 取付穴 ② 被覆材と樹脂管の間に被覆カッター先端を挿入し、樹脂管の接続に必要な長さまで被覆カッターを引いて被覆材を切ります。 又は、被覆材の融着部分を手で開きます。  被覆カッター 融着部分を手で開く 被覆材の融着部分 (印字部) ③ 被覆材の切った部分を折り返して、樹脂管をパイプカッターを用いて管軸に直角になるように切断します。  樹脂管 被覆材 パイプカッター ④ 配管アダプターに貼られたシールをはがし、インコアを取出します。 シールのラインをインコア挿入部の長さに合わせて樹脂管に貼付けます。 ⑤ インコアを根元まで樹脂管に差込みます。 ⑥ シールのラインが配管アダプター端面に入るまで樹脂管を配管アダプターに差込みます。  配管アダプター インコア シール ⑦ 被覆材を元に戻し、配管アダプターに触れる位置で余分な被覆材を切り落とします。樹脂管が露出しないよう、粘着テープを巻き付けます。 ⑧ 配管アダプターをビスにて、床に取付けます。  配管アダプター 粘着テープ ビス	・ 樹脂管は接続時の握りしろとして約250mm確保して下さい。 表6-2 取付穴径の目安 <table><tr><th colspan="2">呼び径</th><th rowspan="2">穴径</th></tr><tr><th>ねじ</th><th>樹脂管</th></tr><tr><td>1/2</td><td>10A・13A</td><td>φ 32mm</td></tr><tr><td>1/2</td><td>16A</td><td>φ 37mm</td></tr><tr><td>3/4</td><td>16A</td><td>φ 40mm</td></tr></table> ・ 上記表の値は目安です。継手形状、ビス取付ピッチ及び取付板厚を考慮の上、穴径を決定して下さい。 取付穴を大きく開けすぎますと、ビス止めがしづらくなります。 ・ 被覆材を開くために、カッターナイフ等の刃物を使用しないで下さい。刃先が樹脂管にあたり、樹脂管を傷つける恐れがあります。  Point 被覆力ポリパイプWには融着部分に案内線が印刷されています。 Point ダブルロックジョイント接続手順の詳細は P7 をご覧下さい。 ・ 樹脂管の接続は確実に行って下さい。差込み不足は漏水の原因になります。 ・ 樹脂管が劣化しますので、粘着テープを直接樹脂管に巻かないで下さい。	呼び径		穴径	ねじ	樹脂管	1/2	10A・13A	φ 32mm	1/2	16A	φ 37mm	3/4	16A	φ 40mm
呼び径		穴径													
ねじ	樹脂管														
1/2	10A・13A	φ 32mm													
1/2	16A	φ 37mm													
3/4	16A	φ 40mm													

2 座付水栓エルボの取付方法

作業手順	⚠ 注意
① 被覆材と樹脂管の間に被覆カッター先端を挿入し、樹脂管の接続に必要な長さまで被覆カッターを引いて被覆材を切ります。又は、被覆材の融着部分を手で開きます。  ■ 融着部分を手で開く 被覆カッター 被覆材の融着部分 (印字部) ② 被覆材の切った部分を折り返して、樹脂管をパイプカッターを用いて管軸に直角になるように切断します。  樹脂管 被覆材 パイプカッター	・ 被覆材を開くために、カッターナイフ等の刃物を使用しないで下さい。刃先が樹脂管にあたり、樹脂管を傷つける恐れがあります。  Point 被覆力ポリパイプWには融着部分に案内線が印刷されています。
③ 座付水栓エルボに貼られたシールをはがし、インコアを取出します。シールのラインをインコア挿入部の長さに合わせて樹脂管に貼付けます。 ④ インコアを根元まで樹脂管に差込みます。 ⑤ シールのラインが座付水栓エルボ端面に入るまで樹脂管を座付水栓エルボに差込みます。	Point ダブルロックジョイント接続手順の詳細は P7 をご覧ください。
 座付水栓エルボ インコア シール	・ 樹脂管の接続は確実に行ってください。差込み不足は漏水の原因になります。
⑥ 被覆材を元に戻し、座付水栓エルボに触れる位置で余分な被覆材を切り落とします。樹脂管が露出しないよう、粘着テープを巻き付けます。 ⑦ 座付水栓エルボを当木に固定します。  座付水栓エルボ 粘着テープ ビス 当木	・ 樹脂管が劣化しますので、粘着テープを直接樹脂管に巻かないで下さい。 ・ 座付水栓エルボのねじ部端面が、壁仕上げ面と一致するように当木を取付けて下さい。また、ねじ部端面が壁仕上げ面に届かない場合や厚壁の場合は、持出しソケットを使用して下さい。  仕上げ壁 当木 座付水栓エルボ 持出しソケット 左座水栓エルボ

1

特長仕様

2

注意事項

3

配管設計

4

サヤ管ヘッダー工法
施工手順

5

ヘッダー工法
施工手順

6

先分岐工法
施工手順

7

水圧検査方法例

8

特記事項

9

参考資料

6 先分岐工法施工手順

継手の施工手順

1 特長仕様

2

注意事項

3

配管設計

4

サヤ管ヘッダー工法
施工手順

5

ヘッダー工法
施工手順

6

先分岐工法
施工手順

7

水圧検査方法例

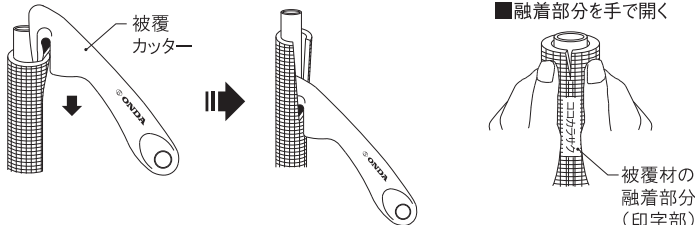
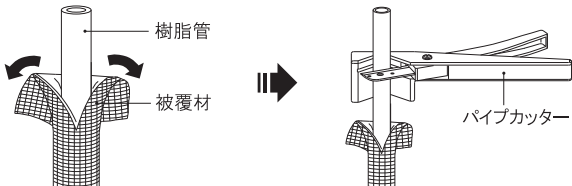
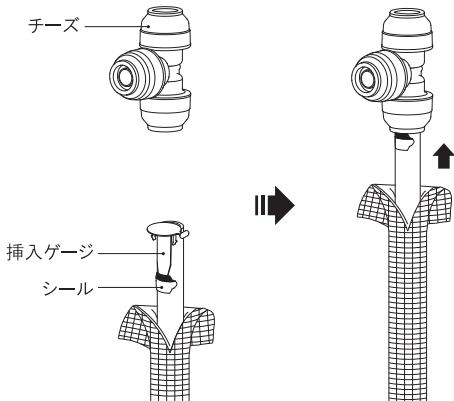
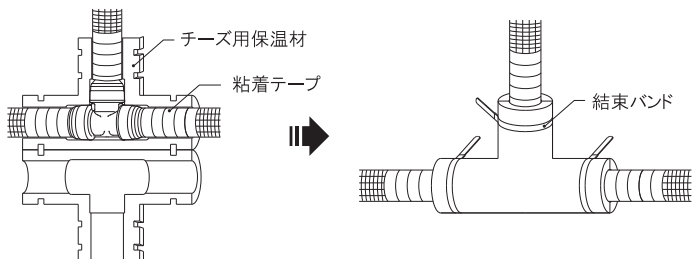
8

特記事項

9

参考資料

3 チーズの取付方法

作業手順	注意
① 被覆材と樹脂管の間に被覆カッター先端を挿入し、樹脂管の接続に必要な長さまで被覆カッターを引いて被覆材を切ります。又は、被覆材の融着部分を手で開きます。  ■融着部分を手で開く 被覆カッター 被覆材の融着部分（印字部） ② 被覆材の切った部分を折り返して、樹脂管をパイプカッターを用いて管軸に直角になるように切断します。  樹脂管 被覆材 パイプカッター ③ チーズ接続口から挿入ゲージとシールを取出します。挿入ゲージを樹脂管に合わせ、シールを貼付けます。 ④ シールのラインがチーズ端面に入るまで樹脂管をチーズに差込みます。  チーズ 挿入ゲージ シール ⑤ 他の接続口も同様に①～④を繰り返し、接続します。 ⑥ 被覆材を元に戻し、チーズに触れる位置で余分な被覆材を切り落とします。樹脂管が露出しないよう、粘着テープを巻き付け、チーズ用保温材の中に被覆材ごと入れます。 ⑦ チーズ用保温材を重ね、結束バンド等で固定します。  チーズ用保温材 粘着テープ 結束バンド	・ 被覆材を開くために、カッターナイフ等の刃物を使用しないで下さい。刃先が樹脂管にあたり、樹脂管を傷つける恐れがあります。  Point 被覆ポリパイプWには融着部分に案内線が印刷されています。 Point ダブルロックジョイントP接続手順の詳細は P8 をご覧下さい。 また、ダブルロックジョイントの接続手順は P7 をご覧下さい。 ・ 樹脂管の接続は確実に行って下さい。差込み不足は漏水の原因になります。 ・ 樹脂管が劣化しますので、粘着テープを直接樹脂管に巻かないで下さい。

4 SK用継手の取付方法

作業手順	⚠ 注意
① $\phi 50$又は$\phi 75$の貫通穴を設けます。 ② 固定プレートと本体を付属のねじで仮固定します。 ③ 本体を貫通穴の中心に合わせ、固定プレートをコンクリートビス等で壁に固定します。貫通穴外周と固定プレートのガイド（円弧）で調節すると位置出しが容易です。	・ ゴミ侵入防止のため、検査用プラグは水栓を施工するまで外してはいけません。また、継手に貼られたシールは樹脂管を接続するまで外してはいけません。 ・ 貫通穴をモルタルで埋め戻す場合、本製品に専用のポリエチレン防食テープで適切な防食処理を施して下さい。 ・ 固定プレートはベランダ水栓取付時に本体の回転を防止するため必ず使用し、コンクリートビス等にて4ヵ所で壁へ固定して下さい。 ・ ダブルロックジョイント接続手順の詳細は P7 をご覧下さい。
④ ベランダ側への本体突出量を調節し、仮固定のねじを本締めします。	・ 本体突出量調節後、固定プレートと本体を付属のねじで必ず固定して下さい。

1

特長仕様

2

注意事項

3

配管設計

4

サヤ管ヘッダー工法
施工手順

5

ヘッダー工法
施工手順

6

先分岐工法
施工手順

7

水圧検査方法例

8

特記事項

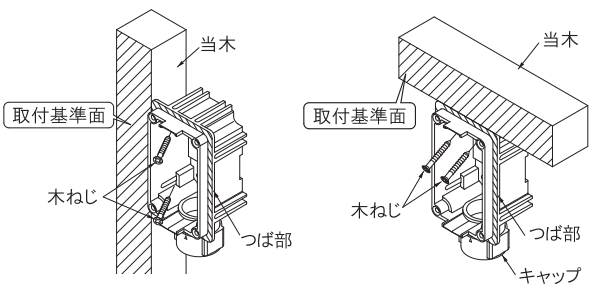
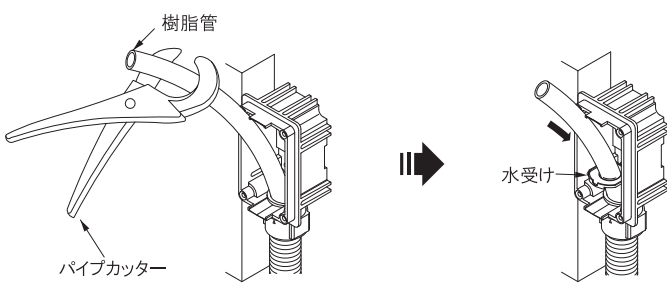
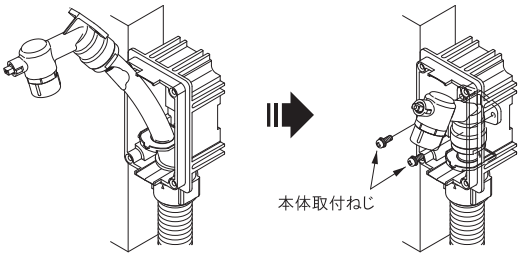
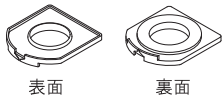
9

参考資料

6 先分岐工法施工手順

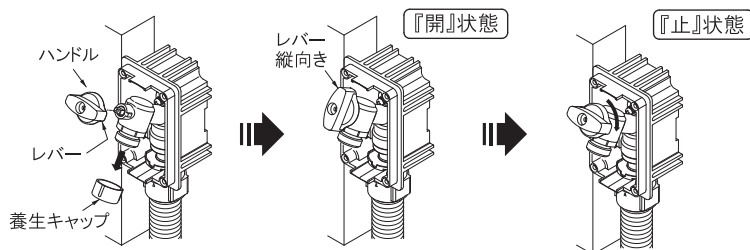
継手の施工手順

5 洗濯機用コンセントの取付方法

作業手順	△ 注意
1. ボックスの取付け ① 壁厚が12.5mmであることを確認し、9.5mmの場合はスペーサーを取付けて下さい。(WF1型) ② 取付高さを考慮して当木などを設け、ボックスの側面(2箇所)または、上面(2箇所)を木ねじで取付けて下さい。  ③ サヤ管をキャップに差込んで下方向へ引っ張り、抜けないことを確認して下さい。 2. 本体の取付け ① パイプカッターを用いて樹脂管を管軸に対して直角に切断して下さい。 ② 水受けを樹脂管に差込んで下さい。  ③ 本体継手部に貼られたシールをはがし、インコアを取出します。シールのラインをインコア挿入部の長さに合わせて樹脂管に貼り付けます。 ④ インコアを根元まで樹脂管に差込みます。 ⑤ シールのラインが本体継手部端面に入るまで樹脂管を本体継手部に差込みます。  ⑥ 本体と水受けをボックスに収めて、本体取付ねじで固定して下さい。 	・ WF1M1型は壁厚が12.5mmであることを確認し、15mmの場合はプレートを取付けて下さい。 ・ WF1L型は壁厚が25mmであることを確認し、22mmの場合はスペーサーを1枚、19mmの場合はスペーサーを2枚取付けて下さい。 ・ ボックスのつば部と取付基準面が一致するように注意して取付けて下さい。 Point サヤ管を使用しない工法の場合でも、壁配管部分はサヤ管を使用する事をお勧めします。 ・ 樹脂管を引き出す際に、ボックスで樹脂管にキズを付けないように注意して下さい。 ・ ボックスと本体の取付けは、必ず給水元より先に行ってください。本体がボックスに収められない場合があります。 ・ 水受けの表面が上になるように、注意して取付けて下さい。  ・ ダブルロックジョイント接続手順の詳細は P7 をご覧ください。 ・ 樹脂管の接続は確実に行って下さい。差込み不足は漏水の原因になります。

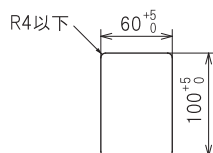
3. 耐圧検査

- ① ハンドルのレバーを横向きにしてハンドルを取付けて下さい。
- ② 養生キャップを取外し、ハンドルを反時計回りに回して、給水管にたまったエアーを抜いて下さい。
- ③ ハンドルを時計回りに止まるまで(90°)回して下さい。
この状態で耐圧検査を実施して下さい。
- ④ 耐圧検査後、ハンドルを取外し、養生キャップを取付けて下さい。



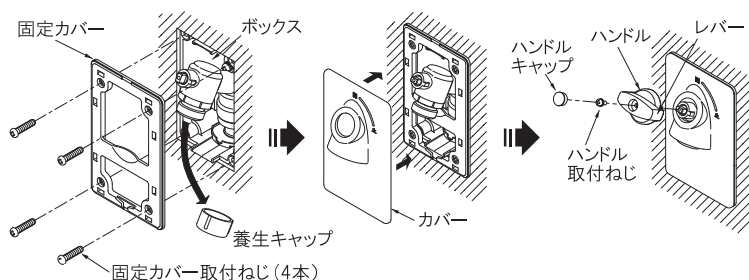
4. ボード(壁)施工時の壁開口

- ① 右図のように壁に穴をあけ、壁をはりつけて下さい。



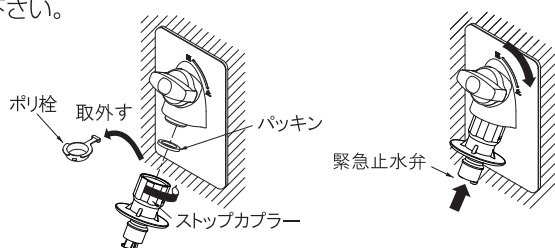
5. カバー及びハンドルの取付け

- ① 養生キャップを取外し、固定カバーを固定カバー取付ねじ(4本)でボックスに取付けて下さい。固定カバーとボックスでボード(壁)を挟み付けた状態になります。
- ② カバーを固定カバーに取付けて下さい。
- ③ ハンドルを差し込み、ハンドル取付ねじをねじ込み、ハンドルキャップを取付けて下さい。ハンドルのレバーがカバー表示の『開』と『止』の間になるように取付けて下さい。



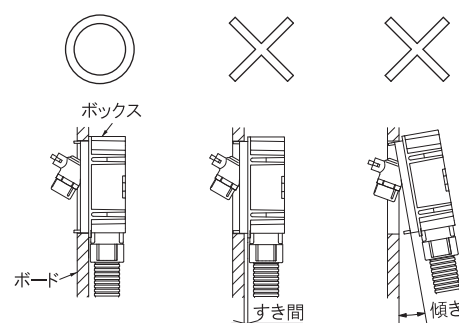
6. ストップカブラーの取付け

- ① ポリ栓を取外し、ストップカブラーを本体に取付けて下さい。ストップカブラーにパッキンがあることを確認して下さい。
- ② ストップカブラーを工具で回し、ガタつきのないようしっかりと締付けて固定して下さい。1N・m ~ 2N・mが目安です。
- ③ 施工後、ハンドルを『止』の位置にして緊急止水弁を押し、圧力を抜いて下さい。



- ・ ハンドルのレバーが縦向きなときが『開』の状態です。
バルブは『止』の状態で工場出荷されていますので注意して下さい。

- ・ ボックスと壁裏面との間にすき間や傾きのないことを必ず確認して下さい。すき間や傾きがあると、カバーとハンドル、ストップカブラーが干渉したり、固定カバーが取付けられなくなるおそれがあります。また、漏水の発見が遅れるおそれがあります。



- ・ 電動ドライバーは使用してはいけません。

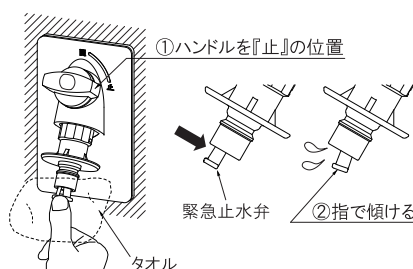
- ・ 固定カバー取付ねじを締めすぎないように注意して下さい。固定カバーが変形しカバーが正常に取付かなくなる可能性があります。

- ・ カバーにキズが付かないように注意して下さい。

■ 給水ホースが接続できない場合

通水後、給水ホースを取外した時などに、ストップカブラー内の圧力により緊急止水弁が作動し、再接続しにくい場合があります。

この場合は、ストップカブラー内の圧力逃しを行って下さい。(6.ストップカブラーの取付け③)



1

特長仕様

2

注意事項

3

配管設計

4

サヤ管ヘッダー工法
施工手順

5

ヘッダー工法
施工手順

6

先分岐工法
施工手順

7

水圧検査方法例

8

特記事項

9

参考資料